# 英語科学習指導案

	科 目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者		
コミニ	ュニケーション英語 I	1年7組(音楽科)29名 (男子9名,女子20名)	1年7組	NEW FLAG English Communication I	岩川 奈稔子 テレンス・ブライアリー		

#### 1 単元(題材)名

Chapter 4 My "Cool Japan"

#### 2 単元の目標

(1) 登場人物の心情を考えながら、読んだり聞いたりしようとする。

【外国語理解の能力】

(2) 〈名詞を修飾する節〉や〈to 不定詞〉, 〈現在完了形〉や〈受け身〉を用いた英文を読み, その内容を理解しようとする。

【外国語理解の能力】

(3) 読んだり聞いたりした内容を、英語で相手に伝えようとする。

【外国語表現の能力】

(4) 読んだり聞いたりした内容に関して、英語で自分の考えを話したり、書いたりしようとする。

【外国語表現の能力】

(5) 海外の人々の日本文化についての感想を理解し、日本文化の良さを再認識する。

【言語や文化についての知識・理解】

(6)ペアやグループ、プレゼンテーション活動で積極的にクラスメートと英語でコミュニケーションを図ろうとする。

【コミュニケーションへの意欲・関心・態度】

### 3 単元 (題材) の評価基準

- The (ASM) - SM [MAX +							
ア	コミュニケーションへ	イ	外国語表現の能力	ウ	外国語理解の能力	エ	言語や文化について
0	の意欲・関心・態度						の知識・理解
1	ペアやグループ活動に積	1	本文を意味のまとまりご	1	内容を正確に読み取るこ	1	外国人が日本文化につい
	極的に参加しようとして		とに正しく区切って読む		とができる。		てCoolだと思うものを理
	いる。		ことができる。	2	登場人物の主張を理解す		解する。
2	意欲的に自分の意見など	2	本文の内容を要約し,英語		ることができる。	2	日本人には当たり前に思
	を発表しようとしている。		で説明することができる。	3	クラスメートの英語によ		えることをの良さを再発
3	クラスメートの意見を積	3	本文を読んで感じたこと		る意見等を理解すること		見する。
	極的に理解しようとして		や自分の考えを英語で表		ができる。		
	いる。		現することができる。	4	〈名詞の後置修飾〉や〈to		
					不定詞の形容詞的用法〉,		
					〈現在完了形〉や〈受け身		
					〉を用いた表現できる。		

### 4 単元 (題材) の指導計画

<u> </u>	1H-4H-1H			
時間	主な学習内容			
1時間目	導入 文法事項の確認			
2時間目	Part 1 新出単語,表現,内容把握,音読			
3時間目	復習(part1音読) Part 2 新出単語,表現,内容把握,音読			
4時間目	復習 (Part 1, 2音読) , Part 3 新出単語, 表現, 内容把握, 音読			
5 時間目	復習 (Part 1, 2, 3音読), Part 4 新出単語, 表現, 内容把握, 音読			
6 時間目	復習(全part 単語),Review, Presentation準備			
7時間目	7時間目 Presentation準備・練習			
8 時間目 <u>(本時)</u>	Presentation 全体発表			

## 5 教材(単元・題材)観(単元概要)

日本には年々多くの外国人が訪れており、その数は日本政府観光局によると、昨年は3000万人にものぼる。本教材では4名の外国人から見た日本の文化・習慣が描かれている。それらは、古い伝統や文化ではなく、今を生きる現代の日本人が築き、実際の生活に密着したものばかりである。現代を生きるに日本人が今の自分たちのことを誇ることができ、また新しい文化や伝統を自信を持って発信する力を育てるのに優れた教材である。

### 6 生徒観(生徒の実際)

本校音楽科は各学年1クラスずつ構成されている。素直で明るく、元気な生徒たちが多く、落ち着いて学校生活を送っている。 ほとんどの生徒が進学を希望しているが、学力の差は学級内で幅広い。それでもペアやグループ活動で助け合いながら積極的に話 し合い、学び合うクラスである。

### 7 本時の実際

### (1) 本時の目標

- ①相手に伝えることを意識して Presentation を行うことができる。
- ②発表者の Presentation をよく聞き、理解することができる。
- ③Presentation に対する質疑応答を英語で行うことができる。
- ④ペアやグループ活動に積極的に参加することができる。

## (2) 本時の展開

時間	学習内容	生徒の活動	JTEの活動	ALTの活動	評価の観点
5	あいさつ	<ul><li>・あいさつをする。</li><li>・ジグソーを利用してウォームアップをする。</li></ul>	<ul><li>・あいさつをする。</li><li>・4人組を作らせる。</li><li>・教室にジグソー用の紙を 貼り、指示をする。</li></ul>	・ジグソーに関して適宜ヒ ントを与える。答え合わせ をする。	活動の観察
4	本時の目標の確認	<ul><li>・本時の目標を理解する。</li><li>・プレゼンテーターとオーディエンスのルールを聞く。</li></ul>	<ul><li>・本時の目標を提示する。</li><li>・リスニングワークシートを配布し、説明する。</li><li>・プレゼンテーテーターとオーディエンスのルールを確認する。</li></ul>		活動の観察 ワークシート
		・ALTのプレゼンテーションを聞き ワークシートにメモをとる。プレゼ ンテーション後,英語で質疑応答を する。(5分)		<ul><li>生徒と同じテーマでプレゼンテーションを行う。 プレゼンテーション後 質疑応答をする。</li></ul>	
40	英語表現	<ul> <li>・4人組のグループで1班ずつ黒板前でプレゼンテーションを行う。(7班×5分)</li> <li>・オーディエンスの時は、ワークシートに内容についてのメモをとったり、アティチュードを評価したりする。</li> <li>・プレゼンテーション後、英語で質疑応答をする。</li> </ul>		・各プレゼンテーション後 英語で質疑応答をし、コ メントをする。	•
1	連絡 あいさつ	<ul><li>ワークシートを提出</li><li>あいさつをする。</li></ul>	<ul><li>ワークシートの回収</li><li>次時の連絡をする。</li><li>あいさつをする。</li></ul>		